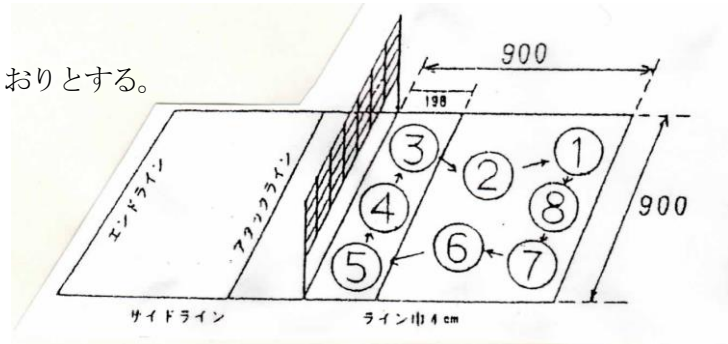


ひらつかトリムバレーボール競技規則

平塚市スポーツ推進委員協議会 (令和元年7月改訂版)

1 コート

- (1) コートの大きさ及び名称は図のとおりとする。
- (2) ネットの高さは210cmとする。



2 競技者

- (1) 1チームの登録は12人以内とする。
- (2) 1チームは8人とし、男性は4人まで、女性は6人までとする
- (3) コート内の40歳未満の男性は1人までとする。
- (4) 前衛3人、中衛2人、後衛3人のポジションに位置して、サービス権を得るごとに右回りで1つローテーションをする。
- (5) プレーヤーのチェンジはプレーがストップしているときであれば、どのプレーヤーともチェンジすることができる。ただし、1度退場したプレーヤーは、そのセットが終了するまで再びプレーに戻ることはできない。

3 競技の細則

- (1) サービスかレシーブ、またはコートのいずれを選択するときは「ジャンケン」によって決める。
 - (2) 1セットの勝敗は、15点を先取した方を勝ちとし、3セットマッチを原則として行い、2セットの先取をもって勝ちとする。
 - (3) 1セット中、双方が14点オールになった場合は2点差をつけて勝ちとする。
ただし、20点オールになった場合は21点を先取したチームを勝ちとする。
 - (4) 得点はラリーポイント方式とする。
 - (5) サーブは1本とする。(手、又は腕で打つこと。)
 - (6) ジャンプをしてスパイクを打てるのは、中衛の2人のみとし、タスキを必ず掛ける。
(ジャンプをしなければ、前衛、後衛ともにスパイクを打つことができるが、後衛がアタックラインを越えてスパイクを打つことはできない。)
 - (7) レシーブ・パスは、ボールを相手方コートに返す前、味方チーム内で最大限3回プレーすることができる。ブロックをしてボールに触れたときは、その後から2回プレーできる。
 - (8) サーブボールをアタック・ブロックしてはいけない。
(ジャンプしなくてもブロックと認められる行為は反則となる。)
 - (9) アタックラインより前でジャンプしてアタック・ブロックをすると反則になる。
(アタックラインを踏んでアタック・ブロックをした場合も反則になる。)
 - (10) プレー中はセンターラインを踏んではいけない。
(アタックが成功した後であっても、センターラインを踏んだ場合はアウトとする。)
 - (11) 味方にトスするときにジャンプしたときはセーフとする。(ネットプレーのみ同一人物が3回プレーできる。)
 - (12) 1セット目終了後コートチェンジし、3セット目はどちらかの得点が8点になったとき、コートチェンジする。(2セット目終了後はコートチェンジしない。)
- ※プレー上の主な反則は、ラインクロス、ネットタッチ、オーバーネット、ドリブル、ホールディング、オーバータイムスとする。